

# Tokyo Tokyo FESTIVAL

総監修 野田秀樹の“旅する文化サーカス”が2年ぶりに帰ってくる！

# 東京キャラバン

東京キャラバン in 駒沢 2021参加アーティスト決定！（第一弾）

松たか子さん、東京スカパラダイスオーケストラ、  
津村禮次郎さん、熊谷和徳さん、沢則行さん、宇治野宗輝さん ほか

公式SNSアカウントが始動！

Instagram : <https://www.instagram.com/tokyocaravan/>

Facebook : <https://www.facebook.com/tokyocaravan.official>

「東京キャラバン」は、野田秀樹（劇作家・演出家・役者）総監修のもと、これまでおおよそ交わることのない表現者同士の“文化混流”を実現させることで、新しい表現によるパフォーマンスを創出し続けている“旅する文化ムーブメント”です。2015年、東京・駒沢公園でその幕を開け、国内外16カ所を巡りながらその土地の歴史や人々が大切にしてきた文化を創作に取り入れ、新しい表現を生み出してきました。そして、7年の時を重ね、2021年8月21日(土)、22日(日)に、17カ所目の開催となる「東京キャラバン in 駒沢 2021」を、旅の始まりの地である、駒沢オリンピック公園(東京都世田谷区)にて開催いたします。

「東京キャラバン in 駒沢 2021」には、松たか子さん(女優)、東京スカパラダイスオーケストラ(ミュージシャン)、津村禮次郎さん(能楽師)、熊谷和徳さん(タップダンサー)、沢則行さん(人形劇師)、宇治野宗輝さん(現代美術家)など、東京キャラバンのコンセプトに共鳴し、各地での創作に加わった多彩なアーティストたちの参加が決定しました。そして今回、最初の創作となるメインビジュアルには、国内外で活躍されているコラージュアーティストの長尾洋さんを迎えます。

あわせて4月21日(水)より、東京キャラバン公式SNSアカウント(Instagram/Facebook)が始動いたします。当日の開催概要やパフォーマンス創作の様子など、様々な情報を発信予定ですので是非ご期待ください。



# 開催概要

## 東京キャラバン in 駒沢 2021

- 名称：東京キャラバン in 駒沢 2021
- 日程：2021年8月21日(土)、22日(日)
- 会場：駒沢オリンピック公園総合運動場・体育館(東京都世田谷区駒沢公園1-1)
- 観覧：無料、事前申込制・応募者多数の場合は抽選 ※開催時間や申込方法等の詳細は後日発表します。
- 東京キャラバン総監修：野田秀樹(劇作家・演出家・役者)
- 主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
- 共催：東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
- 事業協力：秋田県、秋田市、京都文化カプロジェクト実行委員会、北海道
- 参加アーティスト：  
松たか子(女優)、東京スカパラダイスオーケストラ(ミュージシャン)、津村禮次郎(能楽師)、熊谷和徳(タップダンサー)、沢則行(人形劇師)、宇治野宗輝(現代美術家)、和太鼓 Atoa、“東京キャラバン”アンサンブル、琉球舞踊(立方:嘉数道彦、大浜暢明、玉城匠、上原崇弘 地謡:玉城和樹、和田信一)、秋田市竿燈会(秋田竿燈まつり)、村田製作所チアリーディング部(球乗り型ロボット)、公益社団法人北海道アイヌ協会(アイヌ古式舞踊)、小山豊・小山会青年部(津軽三味線小山流)、真船勝博・徳澤青弦(東京キャラバンストリングス) ほか  
※第二弾参加アーティストの情報は、6月下旬に発表予定です。  
※参加アーティストの出演日等の詳細は後日発表します。
- 参加クリエイター：  
服部基(照明)、名和晃平(美術)、原摩利彦(音楽)、ひびのこづえ(衣装)、赤松絵利(ヘアメイク)、篠山紀信(写真)、奥秀太郎(映像)、青木兼治(映像撮影) ほか
- 公式WEBサイト：<https://tokyocaravan.jp/>
- 公式SNS：Instagram <https://www.instagram.com/tokyocaravan/>  
Facebook <https://www.facebook.com/tokyocaravan.official>

※新型コロナウイルス感染症の状況により、実施内容等に変更が生じる場合があります。  
※出演者やプログラム内容は予告なく変更になる場合があります。

## 総監修者 プロフィール

### 野田 秀樹

劇作家・演出家・役者。東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授、東京キャラバン総監修。東京大学在学中に「劇団 夢の遊眠社」を結成し、数々の名作を生み出す。92年、劇団解散後、ロンドンに留学。帰国後の93年に演劇企画製作会社「NODA・MAP」を設立。『キル』『赤鬼』『パンドラの鐘』『THE BEE』『ザ・キャラクター』『エッグ』『逆鱗』『足跡姫〜時代錯誤冬幽霊〜』『廣作 桜の森の満開の下』『「Q」: A Night At The Kabuki』など、数々の話題作を発表。オペラの演出、歌舞伎の脚本・演出を手がけるなど、演劇界の旗手として枠を超えた精力的な創作活動を行う。2015年よりブラジル、東北、東京、京都など国内外の多種多様なアーティストとの文化混流による文化サーカス「東京キャラバン」を展開。さらには、海外の演劇人と積極的に外国語作品を創作し続けるなど、世界を駆け巡り、意欲的に活動している。2021年5月よりNODA・MAP新作『フェイスピア』を上演予定。

09年10月、名譽大英勲章OBE受勲。09年度朝日賞受賞。11年6月、紫綬褒章受章。



撮影: HARU

## 松たか子（女優）

1993年歌舞伎座『人情噺文七元結』で初舞台を踏んで以降、舞台・ドラマ・映画・歌手活動とさまざまなフィールドで活躍を続けている。舞台では第38回紀伊國屋演劇賞・個人賞、第15回読売演劇大賞・最優秀女優賞などを受賞。近年の出演作に、舞台『メトロポリス』、『イヌビト〜犬人〜』（20年8月公演）。野田秀樹の作品『オイル』、『厲作・罪と罰』、『逆鱗』、『Q : A Night At The Kabuki』など出演多数。

ドラマ『カルテット』『スイッチ』『大豆田とわ子と三人の元夫』、映画『ヴィヨンの妻〜桜桃とタンポポ〜』、『告白』、『夢売るふたり』、『小さいうち』、『アナと雪の女王』シリーズ（日本語吹替版）、『ラストレター』、『峠 最後のサムライ』（21年7月1日公開予定）など多数。

2015年の「東京キャラバン〜プロローグ〜」、2016年の「東京キャラバン in 東北（相馬）」、そして2017年の「東京キャラバン in 京都」に参加。



## 東京スカパラダイスオーケストラ（ミュージシャン）

ジャマイカ生まれのスカという音楽をベースに、あらゆるジャンルの音楽を独自の解釈で飲み込み、自ら奏でるサウンドは“トーキョースカ”と称してオリジナルのスタイルを築き上げた日本が世界に誇る9人組スカバンド。

デビュー30周年イヤーを駆け抜け、新たなフェーズへと進んだ今も尚、バンドのテーマである“NO BORDER”を掲げ、音楽シーンの最前線を走り続けながらトーキョースカの楽園を広げ続けている。

<https://www.tokyoska.net/>

2016年の「東京キャラバン in RIO」、「東京キャラバン in 東北（仙台）」、そして「東京キャラバン in 六本木」に参加。



## 津村禮次郎（能楽師）

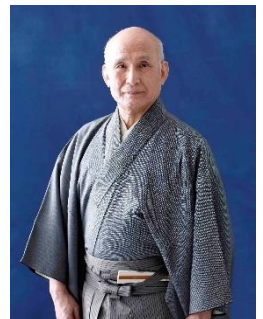
重要無形文化財（能楽総合）保持者。

1942年北九州市生まれ。一橋大学在学中に女流能楽師の草分け津村紀三子に師事、その後先代観世喜之に師事する。緑泉会定例公演、小金井新能公演のほか、仙台、福島、佐渡での活動も40年以上継続する。

古典に留まらず創作活動、海外公演、演劇やダンスとのコラボレーションも多い。

2010年度文化庁文化交流使としてロシアなどで活動。2015年ドキュメンタリー映画「躍る旅人 能楽師・津村禮次郎の肖像」が公開された。著作に「能がわかる100のキーワード」「能狂言図典」、写真集「舞幻」。

2015年の「東京キャラバン〜プロローグ〜」、2016年の「東京キャラバン in RIO」、「東京キャラバン in 東北（仙台・相馬）」、「東京キャラバン in 六本木」、そして2017年の「東京キャラバン in 京都」に参加。



## 熊谷和徳（タップダンサー）

1977年仙台市生まれ。15歳でタップを始め19歳で渡米。帰国後、国内外でタップダンサーとしての活動を広げ、ソロ公演では青山円形劇場・シアターコクーン・国際フォーラムを即日SOLD OUTにするタップダンサーとしては異例の動員数をもつ。2012年文化庁の助成を受け再びNYへ。2014年Bunkamuraオーチャードホールで2回の公演を行う。“National Tap Dance Day”で日本人初となる2014 Flo-Bert Life Achievement賞受賞。2016年ニューヨークのあらゆるジャンルのダンスの最高峰の賞といわれる通称“BESSIE AWARD”で“OUTSTANDING PERFORMER”（最優秀パフォーマー）を受賞。東京に自身のスタジオKAZ TAP STUDIOを持ち、地元仙台においては仙台市市民文化事業団と共に後進の育成のためのプロジェクトTAP the FUTUREを行い、タップの楽しさと文化を広めるため日本全国でのワークショップも勢力的に行う。

熊谷独自の唯一無二のアートは日々進化し、新たなタップダンスの未来を創造している。

2018・2019年の「東京キャラバン in 秋田」に参加。



## 参加アーティスト プロフィール

### 沢則行（人形劇師）

北海道小樽市出身。1991年にフランス、1992年に文化庁在外研修派遣でチェコへ。以後、プラハを拠点に世界20ヶ国以上で公演、また、チェコ国立芸術アカデミー演劇・人形劇学部を始め、多くの教育現場で講座、ワークショップを行う。ヨーロッパ文化賞「フランツ・カフカ・メダル」授与、EU文化都市賞など、国際的受賞多数。日本国内では、NHK「みんなのうた」映像制作、「SWITCHインタビュー 達人達」出演、東京2020大会の公式文化プログラム「東京2020NIPPONフェスティバル〜巨大人形プロジェクト『モッコ』」の人形デザイン設計および人形製作操演総指揮を担う。極小から巨大まで、あらゆる人形（＝フィギュア）を創造し操演するところから、フィギュアアートシアタの第一人者とされる。

2019・2020年の「東京キャラバン in 北海道」に参加。



撮影：Youhei KUBOTA

### 宇治野宗輝（現代美術家）

1964年東京都生まれ。90年代よりサウンドスカルプチャーを制作、展示／パフォーマンスを行っている。

2004年からは、大量消費社会が急速に拡大した20世紀以降の「物質世界のリサーチ」を基盤に、楽器、家電製品や自動車、家具、中古レコードなど、世界中どこにでもある日常的なモノと技術を再構成し、近代の文化を再定義するサウンド／スカルプチャー／パフォーマンスの複合プロジェクト「The Rotators」に取り組み、日本のみならず世界各地の展覧会に参加している。

2015年の「東京キャラバン〜プロローグ〜」、2018・2019年の「東京キャラバン in 秋田」に参加。



### 和太鼓 Atoa.

2011年3.11東日本大震災を受け、世界中で活動をしている「鼓童」を離れ、地元仙台へ戻り「Atoa.」を結成。

2011年には、重要無形文化財保持者の能楽師 津村禮次郎との共演を果たし、2016年には、演出家 野田秀樹の下、六本木ヒルズアリーナにて公演。また宮沢りえ・東京スカパラダイスオーケストラとのコラボレーションを果たす。2017年には、京都二条城前公演で松たか子・EGO-WRAPPIN'中納良恵らと共演。小金井新能公演にては、コンテンポラリーダンサーの森山開次とも共演。2018年、シンガーソングライター上北健【KK（ケケ）】と篠笛演奏家の阿部一成と舞台「命の装い」を合作。2020年元日サッカー天皇杯（JFA 99TH JAPAN FOOTBALL CHAMPIONSHIP）国立競技場大会でのオープニングセレモニーをメインゲストとして演奏。他ジャンルで活躍しているアーティストとのコラボレーションを果たし、精力的に活動の幅を広げている。結成10年目を迎え、更なる活躍を期待されている。

2017年の「東京キャラバン in 京都」、「東京キャラバン in 熊本」に参加。



### “東京キャラバン”アンサンブル

2015年「東京キャラバン〜プロローグ〜」を機に、野田秀樹の創作活動を支えるパフォーマーたちによって結成された演劇アンサンブル。野田秀樹が「東京キャラバン」に書き下ろした「物語」を演劇的に表現し、2015年の駒沢『旅立つ前夜〜1940年の子供たち〜』、2016年のリオデジャネイロ、仙台、相馬、六本木での『地球の反対側から来たお話』、2017年の京都『夏の魂の中で』、2019年の秋田『禁断の恋』、2020年の北海道『予告編という名の運命』などのパフォーマンスに参加し、観客を「東京キャラバン」の世界へと誘う。

2015-2020年メンバー：秋草瑠衣子、秋山遊楽、石川詩織、大石貴也、織田圭祐、上村聡、川原田樹、菊沢将憲、黒瀧保士、近藤彩香、佐々木富貴子、指出瑞貴、下司尚実、白倉裕二、末富真由、手代木花野、長尾純子、永田恵実、夏子、野上絹代、野口卓磨、福島彩子、的場祐太、光瀬指絵、柳生拓哉、吉田朋弘



### 琉球舞踊（立方：嘉数道彦、大浜暢明、玉城匠、上原崇弘 地謡：玉城和樹、和田信一）

沖縄独自の歌舞劇「組踊」と同様、琉球古典音楽と琉球舞踊は琉球王朝時代に宮廷芸能として発展してきた伝統芸能。伝統を受け継ぎつつ、新たな挑戦をし続ける、国内外で活躍する若手、中堅メンバーが参加する。

2015年の「東京キャラバン〜プロローグ〜」、2017年の「東京キャラバン in 八王子」、そして2019・2020年の「東京キャラバン in 北海道」に参加。



撮影：篠山紀信

## 参加アーティスト プロフィール

### 秋田市竿燈会（秋田竿燈まつり）

「秋田竿燈まつり」は、稲穂に見立てた竿燈が夏の夜空に揺らめき、五穀豊穡を祈願する東北三大まつりのひとつ。毎年8月3日から6日までの4日間、秋田市で開催される。起源は江戸時代中期とされ、270年もの歴史を持つ国重要無形民俗文化財。流麗なおはやしと「どっこいしょ」の掛け声に合わせて、長さ約12m、重さ50kgにもなる竿燈を、差し手があげる熟練の妙技が見どころ。

2018・2019年の「東京キャラバン in 秋田」に参加。



### 村田製作所チアリーディング部（球乗り型ロボット）

世界中のみなさまに元気と笑顔を届けるために、2014年に開発された球乗り型ロボット。メンバー全員が絶妙なバランス感覚とチームワークで一糸懸念パフォーマンスして、世界中のイノベーターや頑張る人を応援します。息の合ったかわいい動きを楽しんでください。

2017年の「東京キャラバン in 京都」に参加。



### 公益社団法人北海道アイヌ協会（アイヌ古式舞踊）

東京2020オリンピック・パラリンピックからアイヌ文化を世界へ多様な民族が集う平和の祭典において日本の先住民族アイヌの存在を世界に知ってもらうまたとないチャンス。

全てものを敬う心から築かれたアイヌ文化には世界平和に通じるものがある。そんなアイヌ民族の心を、世界に誇れる日本の心の一つとして世界に発信していく取組を進めている。2019・2020年の「東京キャラバン in 北海道」に参加。



撮影：篠山紀信

### 小山豊・小山会青年部（津軽三味線小山流）

津軽三味線全国普及のパイオニア、初代・小山貢（貢翁）が津軽三味線が津軽地方の伝承芸能に過ぎなかった1957年、単身上京し津軽民謡の普及を始め、東京発全国へと発展させた。合奏での演奏スタイル、楽曲の譜面化のパイオニアとしても知られている。小山流三代目である小山豊は多くの海外公演や【嵐】【ずっと真夜中でいいのに。】など多岐に渡るコラボレーションを精力的に行なっている。“民謡をもっと身近なものに”をテーマに小山流若手有志で青年部を結成、多角的に活動の幅を広げている。

2015年の「東京キャラバン〜プロローグ〜」、2017年の「東京キャラバン in 京都」に参加。



### 真船勝博（東京キャラバンストリングス）

1977年2月1日大阪生まれ。高校1年の春エレキベースを始める。大学入学後JAZZ研に入部しウッドベースも始める。2000年より「EGO-WRAPPIN'」のサポートを始め、様々なアーティストのライブやレコーディングに参加しつつ「EGO-WRAPPIN' AND THE GOSSIP OF JAXX」や、yui 率いる「FLOWER FLOWER」などのバンドで活動中。2021年リリースのYUI「NATURAL」全曲プロデュース。



### 徳澤青弦（東京キャラバンストリングス）

1976年生まれ、東京出身。チェリスト・作曲・編曲家。東京藝大でクラシックを学び、新たな発見を求めて他分野で活動を始める。2003年～2008年anonymassで4枚のアルバムをリリース。2007年～これまでに小林賢太郎関連サントラ集を6枚リリース。2009年よりさだまさしコンサートツアーバンドに加わる。2014年トウヤマタケオとのデュオThrowing a Spoonで「awakening」、「Bored to death」（2019年）リリース。2020年林正樹（Pf.）とのデュオで「Drift」リリース。映画『天気の子』『君の名は。』いずれもオーケストレーションに携わる。2015年フジテレビ（FNN）「こんやのニュース」、「あしたのニュース」、NHK総合「ドキュメント72時間」等に楽曲提供。NHK Eテレ「ムジカ・ピッコリーノ」ゴーシュ役で出演。



## 「東京キャラバン in 駒沢 2021」のメインビジュアルは長尾 洋が創作!!



### 【アーティストコメント】

今回の東京キャラバンのために制作させていただいた作品は、エネルギー溢れる4体の神様が舞台に降臨してくるようなイメージで作りました。過去に出演された方々の写真素材を提供していただいた写真をメインに使い、背景は能楽で使われる五色の段幕からインスピレーションをもらいました。そしてこの六角形のキャンバスの形は、舞台、空間を直方体とした時のシルエットであり、また、六角形は自然界にも沢山見つけることができる代表的な図形でもあります。魂も欢喜させてくれる野田秀樹監修の東京キャラバンをこの作品と共に皆さんと共有できたらと思います。

### 長尾 洋

緻密に組み合わせさせたコラージュをメインに、アクリル絵具やマーカーなどをカラフルに使った作風が特徴の壁画や広告などのプロジェクトも手がける。海外での生活と自身の先祖にアイヌがいることがきっかけとなり民族学や文化人類学に強い興味を持ち出し、実際にナミビア、モンゴル、メキシコへフィールドワークとして現地住民宅へホームステイをしながら彼ら固有の美意識、文化、生活などを調査しながら「僕らは未来の先住民」をテーマに制作活動をしている。これまでにSCOPE ART FAIR MIAMI、LA ART SHOW、Swizz Beatz主催の No Commissionなどの国際的なアートフェアやイベント、SEA WALLS やSt+art Indiaなどのアートフェスティバルにも参加。広告の分野でも欧州アシックス、JRA中京競馬場、グラニフ、名古屋パルコ、TOMS、STUDIO APARTMENT、KEYTALK、KITTE名古屋とのコラボレーションなど現在は愛知県を拠点に国内外で活躍中。



## 「東京キャラバン in 駒沢 2021」開催にむけて公式SNSアカウント始動！

4月21日より、公式SNSアカウントを開設いたしました。

「東京キャラバン in 駒沢 2021」の最新情報や舞台裏のほか、参加アーティストによるコメントやこれまでの東京キャラバンの様子も投稿していく予定です。詳しくは下記をご確認ください。

公式SNS : Instagram <https://www.instagram.com/tokyocaravan/>

Facebook <https://www.facebook.com/tokyocaravan.official>

# 「東京キャラバン」とは

「東京キャラバン」は、東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団がオリンピック・パラリンピックが開催される東京を文化の面から盛り上げるため、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の主要プログラムとして実施しています。劇作家・演出家・役者である野田秀樹の発案により、多種多様なアーティストが出会い、国境／言語／文化／表現ジャンルを超えて、“文化混流”することで、新しい表現が生まれるというコンセプトを掲げ、それぞれのジャンルを超えたパフォーマンスを各地で展開しています。

「東京2020オリンピック・パラリンピック」の文化プログラムを先導するリーディングプロジェクトとして実施した2015年の東京・駒沢に始まり、2016年にリオデジャネイロ、東北（仙台・相馬）、六本木にて開催。2017年度からは「東京2020公認文化オリンピアド」として本格始動し、日本全国の自治体（道府県、政令指定都市、中核市）の中から立候補を募り、共感いただいた44の地域から開催候補地を選出し、2017年は京都（二条城・亀岡）、八王子、熊本にて、松たか子（女優）、中納良恵／EGO-WRAPPIN'（ミュージシャン）、津村禮次郎（能楽師）が参加。さらに、2018年は豊田、高知、秋田にて黒木華（女優）、熊谷和徳（タップダンサー）、チャラン・ポ・ランタン（アーティスト）。そして、2019年はいわき、埼玉、富山、岡山、北海道にて木村カエラ（アーティスト）をはじめ、芸術文化界で活躍する様々な著名人や新たな可能性を持った若き表現者たちが参加し、それぞれの圧倒的なパフォーマンスで63,500人以上の観覧者を魅了しました。

そして、2021年は全国各地のキャラバンを経て、旅の始まりの地である駒沢オリンピック公園に再び集結。「東京キャラバン」に出会い、そのムーブメントで芽吹いた新しい表現の種が、この地で、一つとなり、今までにない大きなパフォーマンスとなって花開きます。

※2021年は、東京2020NIPPONフェスティバル共催プログラムとして実施します。

## 2021年までの開催地域・日程

### 2015年 ～プロローグ～“旅立つ前夜”

① 駒沢 10/8(木)-10(土)

### 2016年 ～地球の反対側へ～

② リオデジャネイロ 8/18(木)-21(日)

③ 東北・仙台 9/3(土)-4(日)

④ 東北・相馬 9/17(土)-18(日)

⑤ 六本木 10/21(金)-22(土)

### 2017年 ～日本全国へ～

⑥ 京都・亀岡 8/19(土)-20(日)

京都・二条城 9/2(土)-3(日)

⑦ 八王子 9/9(土)-10(日)

⑧ 熊本 10/9(月・祝)-13(金)、15(日)

### 2018年 ～さらに日本全国へ～

⑨ 豊田 7/22(日)

⑩ 高知 9/16(日)

⑪ 秋田 12/8(土)-9(日)、  
2/16(土)-17(日)

### 2019年 ～2020年とその先に向けて～

⑫ いわき 5/19(日)

⑬ 埼玉 10/13(日)※中止

⑭ 富山 11/3(日・祝)・4(月・休)

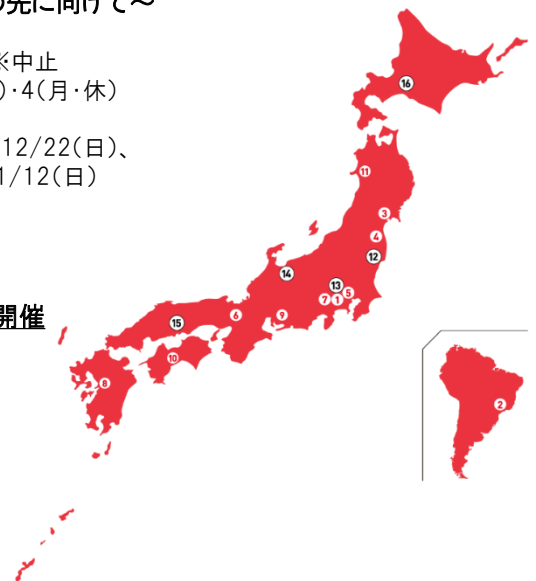
⑮ 岡山 12/8(日)

⑯ 北海道 12/21(土)-12/22(日)、  
1/11(土)-1/12(日)

2020年 開催中止

### 2021年

駒沢オリンピック公園にて開催



「必要なのは、今、2020年にむけての『物語』、そして、その『物語』が2020年を超えても続いていけるような、そんな『物語』を作ることはできないのか？1964年の東京オリンピックには、これで戦後が終わっていくのだ、日本がいよいよ世界に向かって復帰できるのだ、といった確固たる物語があったように思う。

今回の東京オリンピックには、今、日本人を動かすべき、そうした大義名分のような『物語』を簡単に見つけることは難しいだろう。ただ、ある程度の大きさの『物語』を積み重ねることで、人々の「気運」を作ることはできる。そして、盛り上がった「気運」の中から、壮大な物語は生まれないと。 (中略) そして、この東京キャラバンが日本にばらまいた、目の前にある文化＝ライブの面白さ。それを経験した小さな子供たちの心の中に種が撒かれる。

インターネットの普及で偏りがちになった文化とは、全く違う姿、目の前で息をしている人間が生み出す文化への興味を示してくれるようになり、その中から、新たな形態の文化を生み出すとき、この「東京キャラバン」という物語は、本当に壮大な物語になるだろう。」

野田秀樹（「東京キャラバン」構想より）

東京都

ARTS  
COUNCIL  
TOKYO



本リリースに関するメディアお問い合わせ先  
東京キャラバン広報事務局 担当：古川・野々口・山根  
Email: press@tokyocaravan.jp